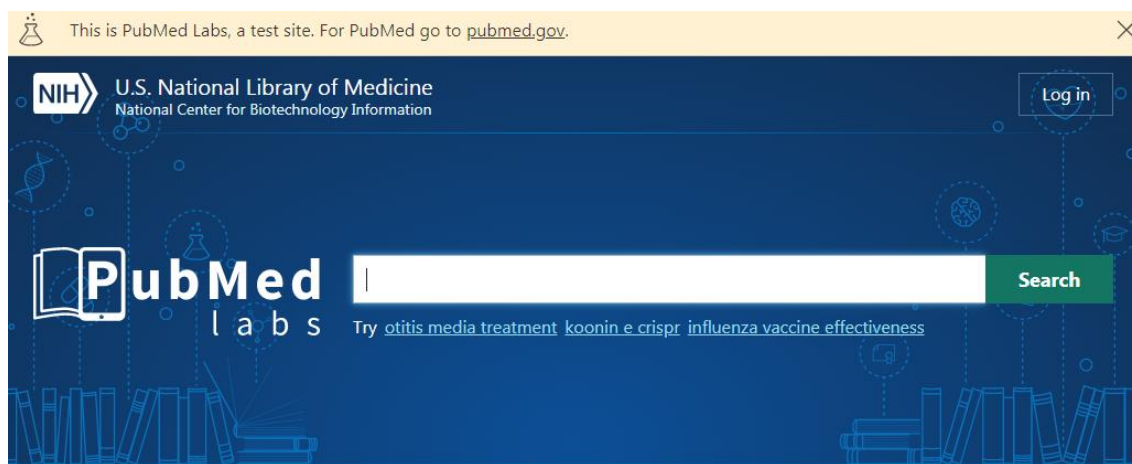


PubMed の変更と検索行動への影響

阿部信一（東京慈恵会医科大学学術情報センター）

米国国立医学図書館（NLM）が作成，公開する PubMed は，1997 年の公開以来 20 年以上を経て，代表的な医学関連分野のデータベースとして今や欠かせない存在となった。PubMed のデザインや機能はこれまでも何度も変更が行われてきた。変更があまり頻繁であるため，PubMed のマニュアルは作るそばから改訂が必要となり，印刷形式には不向きとされた。現在，PubMed labs として公開されているテスト版の PubMed が，2019 年 9 月より正式な PubMed として運用されることが公表された。現在の PubMed の利用環境はほぼ半数はモバイル端末やタブレット端末からの統計があり，PubMed のデザインも感覚的に操作しやすいデザインを志向していると言われている。新しい PubMed が検索行動にどのような影響があるか，過去の変更も振り返りながら，検証した。



PubMed labs のトップ画面

これまでの PubMed の主な動き

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1996 年 実験公開開始 | 2010 年 Abstract が構造化抄録形式に |
| 1997 年 一般公開開始 | 2011 年 PubMed Mobile (ベータ版) 公開 |
| 2002 年 Clinical Queries に Systematic Review が追加 | 2012 年 Limits 機能がサイドバーのフィルターに変更 |
| 2003 年 マッピングに Publication Type が追加 | 2013 年 検索結果の表示順に関連度が追加 |
| 2005 年 RSS フィード利用可能 | 2014 年 データ更新作業が週 5 日から毎日 |
| 2009 年 Auto Suggest 機能が追加 | 2015 年 Summary 形式表示からステータスが削除 |
| 2009 年 Limits 機能が Advanced search へ統合 (デザインの大幅な変更) | 2017 年 PubMed Labs 公開 |